



話し合いに活かすファシリテーションのコツ

ファシリテーションのコツを習得することで、組織での話し合いや教育啓蒙活動において、より効果的な実践をすることができます。今回の研修では、ファシリテーションの骨格や技術について学びながら、様々な場面でファシリテーションを活かすにはどうすればいいのかをみんなで考えました。



講義の様子

ファシリテーションとは、ある課題について論点をクリアにして、相互理解と解決を導くための方法です。講義では、ファシリテーションの骨格を成す考え方や、具体的な発言を引き出すコツや資料作りのポイントについて学びました。



▲ファシ魚くんについての説明。みなさん、熱心にメモを取ってます。

～講師紹介～



福島県立医科大学
医療人育成・支援センター
助手 安井 清孝

1970年 東京・赤羽生まれ

1997年 看護師免許取得

2003年から医療シミュレーション教育施設管理者として医療教育に従事。

このときからシミュレーション教育を通じてファシリテーション技術を取得。

2012年から東日本大震災に設立された福島県立医科大学に勤務。

趣味：ランニング

グループワークの様子

2時間の研修の中では、講義の合間に4回のグループワークが行われました。前半のグループワークでは、ファシリテーションを活用したい場面や、話し合いでこれまで困ったことについて話し合いました。後半では講義で学んだマトリックスを駆使して、効果的なファシリテーションとは何かやファシリテーションを行う上で重要なことについて意見を出し合いました。



▲各グループで出た意見を他のグループの人が聞きに行き、学んでいます。

アンケート集計結果

アンケート回収数は、参加者27名中26名でした。

評価項目	そう思う*
研修の資料や進行について	
配布資料は適切だった	100%
時間配分は適切だった	100%
進行は適切だった	100%
講義について	
講義内容が理解できた	96%
講義は今後の保健活動に役立つと思う	96%
学んだことを同僚に伝えたいと思う	92%
話し合いについて	
話し合いは今後の保健活動に役立つと思う	100%
あなたご自身について	
研修を受ける前よりも、保健活動に対する自信が増したと思う	69%
研修を受ける前よりも、健康に関して住民と話し合う自信が増したと思う	58%
今後の研修に向けて	
今日のような研修にまた参加したいと思う	96%
この研修への参加を同僚にお勧めしたいと思う	92%

* 5段階評価：「1. 全くそう思わない」～「5. 大いにそう思う」の4と5の合計

編集後記

ファシリテーションのスキルを向上させることは地域保健を担っている保健師等にとって非常に重要だと思います。今回学んだファシリテーションの基礎知識をもとに実施し、スキルを磨くことで効果的な話し合いができ保健活動の進めやすさにつながると思います。（吉田）

* 復習ポイント *

- ・ファシリテーションの4つの構造とは？
- ・マトリックスの使い方は？
- ・時間管理のポイントは？